

平成29年度 赤岩地区住民活動支援事業 【概要】

(実施主体 : 気仙沼地方振興事務所 業務委託 : NPO法人あぐりねっと21)

事業の目的

中山間地域においては、中山間地域等直接支払交付金制度や多面的機能支払交付金制度による営農支援を実施しているが、高齢化や担い手不足により、集落のみでは農地の維持や農村の持つ多面的機能発揮を維持することが難しい状況が生じつつある。次期対策に向けて、これらの地域が継続して制度を活用していくために、住民活動に対する支援の在り方やシステムづくりの検討を行うことを目的として実施した。

集落ワークショップ

(1)水梨子集落(H29.9.3)

- 地元参加者:40代1名, 60代3名, 70代2名, 80代3名
- 食味品評会で高得点が出るほどのおいしい米ができるが、収量が少なく自家消費がほとんど。

(2)羽田・上金取集落(H29.9.27)

- 地元参加者:40代2名, 50代1名, 60代4名, 70代1名
- 上金取集落と羽田集落で集落連携に取り組んでいる。



課題と対策

- ◆ 中山間地域は法面の傾斜がきついため、草刈作業が大変。
- ◇ 草刈が困難なために、耕作を断念した人もいる。
- ◆ 個人でできない人の分を共同作業で実施しているが、限界がある。
- ◇ 今後、作業協力してもらえらるNPO法人や森林組合等への委託を考えていく必要がある。委託費の助成をお願いしたい。
- ◆ 法面用の草刈機のレンタルや、購入の助成をお願いしたい。

草刈りデモンストレーション

農地の長大法面の草刈り作業の軽減や効率的な草刈り方法について、①委託による草刈り作業(委託先:気仙沼市森林組合)と、②斜面仮草刈り機による作業の実用性について比較するため、それぞれ実演した。

【実演結果(H29.11.9)】

【委託】若い人も多く在籍しており、作業を委託することは十分可能。作業上注意事項の説明や、委託費用について検討が必要。

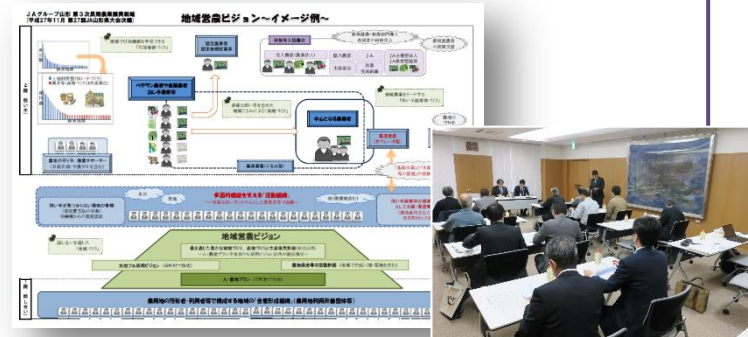
【機械】2m程度の斜面であれば十分対応可能。刈り取り長さが短く、処理も不用。機械は1台約20万円前後であり、高額。



先進地視察

全国に先駆けて草刈隊支援事業を制度化し、「山形県川西町高山地区の草刈隊」に支援するJA山形中央会を視察した。(視察日:H29.12.6)

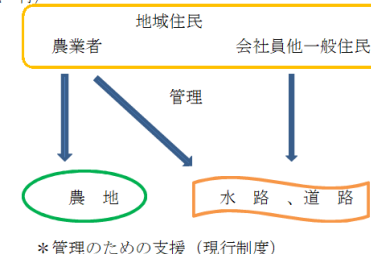
[財源]農林中央金庫「県域企画応募事業」
[予算]3箇年度総額10,000千円
[要件]多面的機能支払交付金の対象地域
JA青年組織の盟友を含めた地域の若手で構成
[支援]立上げ時や活動時の経費を支援
※中山間地域割増制度がある



まとめ・今後の取組み

- 中山間地域においては、高齢化等に伴い、一層草刈り作業が耕作を継続していく上での負担となる。
- 地域の若手後継者が農業に参加・作業がしやすいような体制づくりや、効率的な機械の導入を進める必要がある。
- 関係行政機関やJA等による支援も必要である。
- 草刈り作業の支援制度や、農業用ドローン等の活用による耕作負担軽減等について、今後も検討を継続する予定。

【体制図】
(現行)



(将来)

